

記者発表

資料配付：平成 24 年 4 月 6 日

平成 2 4 年度事業計画

記者発表資料



<http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/>

取 扱

平成 24 年 4 月 6 日 15 時 解禁

お問い合わせ先

国土交通省 金沢河川国道事務所 TEL 076-264-8800 (代表)
FAX 076-264-9910

【治水系】調査第一課長 大角（おおかど）

【道路系】調査第二課長 木村（きむら）

平成24年度 事業計画のあらまし

平成24年度事業計画のポイント

【完成事業】

- ・ 国道470号 ^{ななおひみ}七尾氷見道路 (^{ななおひがし}七尾東IC～^{おおとまり}大泊IC※) の完成 ※IC名は仮称
- ・ 国道159号 ^{かなざわとうぶ}金沢東部環状道路 (^{ひがしながえまち}東長江町～^{すずみだい}鈴見台 4車線化) の完成
- ・ 国道8号 ^{こまつ}小松バイパス (^{やわた}八幡IC～^{ひがしやま}東山IC 4車線化) の完成

【新規事業】

- ・ 国道470号 ^{わじま}輪島道路(Ⅱ期)の新規事業着手
- ・ 国道157号 ^{のまち}野町自転車歩行者道の新規事業着手【交通安全対策(無電柱化)】
- ・ ^{かけはしがわ}梯川水系 ^{かけはしがわ}梯川 ^{かけはしがわ}梯川逆水門耐震対策の着手

【継続事業等】

- ・ 国道470号 ^{わじま}輪島道路の事業推進
- ・ 国道8号 ^{かが}加賀拡幅の事業推進
- ・ 国道159号 ^{ななお}七尾バイパスの事業推進
- ・ 国道159号 ^{はくい}羽咋道路の事業推進
- ・ 国道159号 ^{ふたつやきた}二ツ屋北自転車歩行者道の事業推進【交通安全】
- ・ 国道159号 ^{はしば}橋場自転車歩行者道の事業推進【交通安全】
- ・ 国道8号 防災・震災対策等の事業推進
- ・ ^{てとりがわ}手取川水系 ^{てとりがわ}手取川 河口部掘削及び急流河川対策の推進
- ・ ^{かけはしがわ}梯川水系 ^{かけはしがわ}梯川 ^{かけはしがわ}梯川流下能力向上の推進
- ・ ^{てとりがわ}手取川水系 ^{てとりがわ}手取川 ^{みかわ}美川護岸改良の推進
- ・ ^{じんのすけだに}甚之助谷地区地すべり対策事業の推進
- ・ ^{いしかわ}石川海岸 侵食・越波対策の推進

1. 基本方針

限られた予算の中、効果の高い事業への重点投資を図り、事業評価の厳格な実施、公共工事のコスト縮減、入札・契約制度に係る競争性・透明性の向上の実施により、一層効果的かつ効率的に事業を推進するとともに、現在進行中のプロジェクトの早期供用を推進します。

2. 主要施策

◆ 道路事業 ◆◆◆

[完成事業]

- 国道470号 七尾氷見道路 [能越自動車道]
(七尾東IC～大泊IC※) の完成 ※IC名は仮称 ……資料1

七尾氷見道路は、高規格幹線道路の一般国道自動車専用道路として整備を進めている「能越自動車道」の一部であり、石川県七尾市八幡(七尾IC)から富山県境の延長約13.6kmで事業を推進しています。

平成24年度は、七尾東IC～大泊IC間(L=9.3km)の改良、橋梁及び舗装工事を完成させ、年度内に暫定2車線で供用する予定です。また、残る区間についても、平成26年度の供用を目指し、改良及び橋梁工事を推進します。(七尾市)

- 国道159号 金沢東部環状道路(東長江町～鈴見台 4車線化) の完成 ……資料2

金沢東部環状道路は、山側環状の一部を構成し、北陸自動車道や能登有料道路とあわせて、広域的な道路ネットワークの形成を目的とした延長約9.4kmの事業です。現在は、増加している交通を円滑に処理するため、東長江町～鈴見台間の4車線化を推進しています。

平成24年度は、卯辰トンネルⅡ期線の電気・機械設備工事及び舗装工事を完成させ、年内に東長江町～鈴見台間(L=2.4km)の4車線化を供用する予定です。

また、引き続き、神谷内～東長江町間(L=1.8km)の橋梁下部工事に着手し、4車線化を推進します。(金沢市)

- 国道8号 小松バイパス(八幡IC～東山IC 4車線化) の完成 ……資料3

小松バイパスは交通需要をはじめとする諸問題に対応し、金沢バイパス、金沢西バイパス並びに、加賀産業開発道路(主要地方道金沢小松線)と接続することにより、主要幹線道路としての機能を十分発揮するとともに、小松加賀地方圏の更なる発展に大きく寄与する事を目的とした延長約15.6kmの事業です。

平成24年度は、八幡IC～東山IC間(L=2.2km)の橋梁及び舗装工事を完成させ、年度内に同区間の4車線化を供用する予定です。

また、引き続き、東山IC～栗津IC間(L=5.1km)の改良工事に着手し、4車線化を推進します。(能美市、小松市、加賀市)

【新規事業】

○ 国道470号 輪島道路(Ⅱ期) [能越自動車道] の新規事業着手 ……資料4

輪島道路(Ⅱ期)は、高規格幹線道路の一般国道自動車専用道路として整備を進めている「能越自動車道」の一部であり、石川県輪島市杉平町の輪島IC(仮称)から同市三井町本江の三井IC(仮称)に至る、災害時における緊急輸送路及び速達性の確保、高速ネットワーク形成による第三次医療施設へのアクセス性の向上を目的とした延長約6.8kmの新規事業です。

平成24年度は、測量及び道路設計に着手します。(輪島市)

○ 国道157号 野町自転車歩行者道の新規事業着手 [交通安全] ……資料5

国道157号金沢市野町地先は、金沢市の中心市街地に位置し、周辺には小・中学校及び高校があり、自転車・歩行者の利用も多い区間ですが、歩道幅員が狭小で自転車や通学児童等の安全が確保されていない状況です。このため、歩道拡幅により安全・安心な歩行空間を確保するとともに、併せて電線共同溝の整備を行い都市景観及び都市防災性の向上を図ります。

平成24年度は、調査・設計に着手します。(金沢市)

【継続事業等】

○ 国道470号 輪島道路 [能越自動車道] の事業推進 ……資料6

輪島道路は、高規格幹線道路の一般国道自動車専用道路として整備を進めている「能越自動車道」の一部であり、石川県輪島市三井町本江の三井IC(仮称)から同市三井町洲衛の能登空港ICに至る、高速ネットワークの形成と第三次医療施設へのアクセス性向上を目的とした延長4.7kmの事業です。

平成24年度は、調査・設計及び用地買収を推進する予定です。(輪島市)

○ 国道8号 加賀拡幅の事業推進 ……資料7

加賀拡幅は、加賀市内における国道8号の交通渋滞の緩和を目的とした、石川県加賀市箱宮町から同市黒瀬町に至る延長約6.4kmの拡幅事業です。

平成24年度は、平成26年度の供用を目指し、加賀市加茂町～黒瀬町間(L=1.9km)で用地買収、橋梁及び改良工事を推進するとともに、平成27年度の供用を目指し、加賀市松山町～加茂町間(L=2.5km)で調査・設計及び用地買収を推進します。(加賀市)

○ 国道159号 ^{ななお}七尾バイパスの事業推進 ……資料8

^{ななお}七尾バイパスは、国道159号の^{ななお}七尾市街地の交通混雑緩和と交通安全の確保を目的とした、^{ななお}七尾市^{かわらまち}川原町から同市^{しもまち}下町に至る延長約4.3kmのバイパス事業です。

平成24年度は、平成26年度の供用を目指し、^{ふじのまち}藤野町～^{こくぶまち}国分町の用地買収及び改良工事を推進します。^{ななお}(七尾市)

○ 国道159号 ^{はくい}羽咋道路の事業推進 ……資料9

^{はくい}羽咋道路は、国道159号の一部を形成し、現道部の渋滞・事故の改善、^の能登有料道路へのアクセス向上等を目的とした延長約6.7kmのバイパス事業です。

平成24年度は、調査・設計を推進します。^{はくい}(羽咋市)

○ 国道159号 ^{ふたつやきた}二ツ屋北自転車歩行者道の事業推進 [交通安全] ……資料10

国道159号かほく市^{ふたつや}二ツ屋地先は、周辺に小学校・幼稚園があり、小学校の通学路として利用されていますが、歩道未設置の区間や歩道幅員が狭い区間があるため、通学児童、歩行者等の安全が確保されていない状況です。このため、歩道設置及び拡幅により安全・安心な歩行空間を確保します。

平成24年度は、用地買収及び工事を実施します。(かほく市)

○ 国道159号 ^{はしば}橋場自転車歩行者道の事業推進 [交通安全] ……資料11

国道159号^{かなざわ}金沢市^{はしばちよう}橋場町地先は、金沢市の中心市街地に位置し、周辺には小・中学校があり、通勤・通学における自転車・歩行者の利用が多い区間ですが、歩道幅員が狭小で自転車や通学児童等の安全が確保されていない状況です。このため、歩道拡幅により安全・安心な歩行空間を確保するとともに、併せて電線共同溝の整備を行い都市景観及び都市防災性の向上を図ります。

平成24年度は、用地買収及び工事を実施します。^{かなざわ}(金沢市)

○ 国道8号 防災・震災対策等の事業推進 ……資料12

地震時における救助・救援活動、緊急物資輸送の確保のため、緊急輸送道路に位置づけられた橋梁の耐震補強を行う工事です。

平成24年度は、耐震補強対策として国道8号^{てとりがわおほし}手取川大橋(下り)の制震ダンパーなどを設置します。^{かわきたまち}(川北町)

◆ 治水事業 ◆◆◆

【新規事業】

- ^{かけはしがわ} 梯川水系 ^{かけはしがわ} 梯川 ^{かけはしがわ} 梯川逆水門耐震対策の着手 ……資料13

耐震性能が確保されていない築造後80年経過した梯川逆水門について、地震に対する機能向上を図るため耐震補強対策に着手します。(小松市)

【継続事業等】

- ^{てとりがわ} 手取川水系 ^{てとりがわ} 手取川 河口部掘削及び急流河川対策の推進 ……資料14

手取川において大きく流下能力が不足している河口部の河道掘削を推進するとともに、急流河川の洪水エネルギーに対して十分な安全性を確保するため、既設堤防に腹付け盛土を実施します。平成24年度は^{はくさん}白山市^{みなと}湊地区において河道掘削、^の能美市^{いわうち}岩内地区において急流河川対策を推進し、^{はくさん}岩内地区は平成24年度に完成予定です。(白山市・能美市)

- ^{かけはしがわ} 梯川水系 ^{かけはしがわ} 梯川 ^{ひきてい} 流下能力向上の推進 ……資料15

^{かけはしがわ} 梯川では下流部より順次引堤による堤防整備を行っており、引き続き堤防整備(^{ひきてい}引堤)等を推進します。平成24年度は、^{こまつ}小松地区の堤防整備(^{ひきてい}引堤)を推進するため築堤・護岸整備、附帯施設(^{こまつ}小松大橋・市道付替)の改築及び能美・白江地区において用地補償、樋管改築を推進します。(小松市)

- ^{てとりがわ} 手取川水系 ^{てとりがわ} 手取川 ^{みかわ} 美川護岸改良の推進 ……資料16

^{みかわ} 美川護岸改良により、浸水被害の抑制等の効果が得られ、安全度を向上させます。平成24年度は^{はくさん}白山市^し美川^{みかわえいたい}永代町において整備を推進します。(白山市)

- ^{じん の すけだに} 甚之助谷地区地すべり対策事業の推進 ……資料17

白山の南西側斜面、手取川の最上流部に位置する^{じん の すけだに}甚之助谷地区において、地すべりの原因となる地下水の排除を主体とした地すべり防止対策事業を推進します。平成24年度は引き続き、左岸大規模ブロックへの地下水流入を抑制するため、排水トンネル工事を推進します。(白山市)

- ^{いしかわ} 石川海岸 侵食・越波対策の推進 ……資料18

^{かいかんしんしよく} 海岸侵食が著しく^{ごがん}護岸等の被災が頻発している^{こまつ}小松工区で、侵食対策として^{じんこう}人工リーフ(8基目完成)を整備します。(小松市)

国道470号 七尾氷見道路事業の完成

(七尾東IC～大泊IC) ※IC名は仮称

石川県七尾市

事業の概要

七尾氷見道路は、能越自動車道の一部を構成し、高規格幹線道路網の形成と重要港湾七尾港・国際拠点港湾伏木富山港へのアクセス強化、国道160号の事前通行規制区間の迂回を目的とした道路であり、石川県内では七尾市八幡から富山県境間の延長約13.6kmで事業を推進しています。

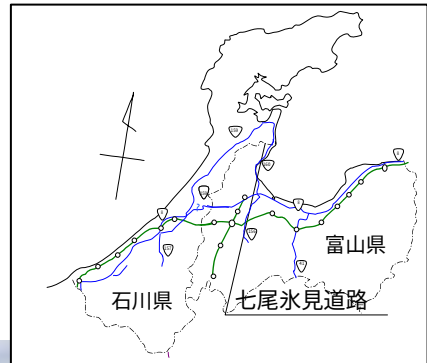
整備効果

- ・高速交通ネットワーク形成により、能登地域と三大都市圏との交流を促進します。
- ・事前雨量規制や災害、越波による交通規制が頻繁に行われる国道160号の代替機能を確保します。

平成24年度の事業内容

平成24年度は、七尾東IC～大泊IC間（L=9.3km）の改良、橋梁及び舗装工事を完成させ、年度内に暫定2車線で供用する予定です。

また、残る区間についても、平成26年度の供用を目指し、改良及び橋梁工事を推進します。



国道159号 金沢東部環状道路事業の完成 (金沢市東長江町～鈴見台) 石川県金沢市

事業の概要

金沢東部環状道路は、地域高規格道路金沢外環状道路の一部を構成し、金沢都市圏内における交通混雑の緩和を図るとともに、北陸自動車道や能登有料道路とあわせて、広域的な道路ネットワークの形成を目的とした、延長約9.4kmの道路です。

整備効果

- ・金沢都市圏内における交通混雑が緩和されます。
- ・主要観光地へのアクセス性の向上が期待されます。
- ・第三次医療施設への救急搬送時間が短縮されます。

平成24年度の事業内容

平成24年度は、卯辰トンネル（Ⅱ期線）の電気・機械設備工事及び舗装工事を完成させ、年内に東長江町～鈴見台間（L=2.4km）の4車線化を供用する予定です。

また、引き続き、神谷内～東長江町間（L=1.8km）の橋梁下部工事に着手し、4車線化を推進します。



国道8号 小松バイパス事業の完成 (小松市八幡～東山町) 石川県能美市、小松市、加賀市

事業の概要

小松バイパスは国道8号の交通需要をはじめとする諸問題に対応し、主要地方道金沢小松線（加賀産業開発道路）と接続することにより、主要幹線道路としての機能を十分発揮するとともに、小松加賀地方圏の更なる発展に大きく寄与する事を目的とした延長約15.6kmの事業です。

整備効果

- ・小松バイパスの交通容量を拡大することにより、小松市街の交通混雑の緩和及び交通事故の減少等が期待されます。
- ・金沢・加賀方面のアクセス向上が図られ、地域間交流及び地域経済の活性化に寄与します。

平成24年度の事業内容

平成24年度は、八幡IC～東山IC間（L=2.2km）の橋梁及び舗装工事を完成させ、年度内に同区間の4車線化を供用する予定です。

また、引き続き、東山IC～粟津IC間（L=5.1km）の改良工事に着手し、4車線化を推進します。



国道470号 輪島道路（Ⅱ期）の新規事業着手 （輪島IC～三井IC） ※IC名は仮称 石川県輪島市

事業の概要

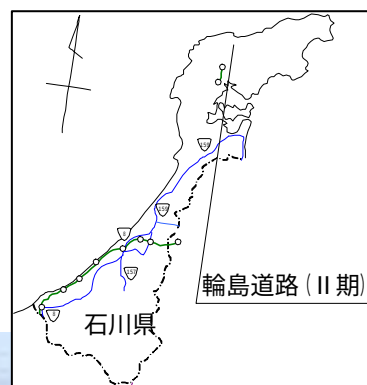
輪島道路（Ⅱ期）は、能越自動車道の一部を構成し、石川県輪島市杉平町の輪島IC（仮称）から同市三井町本江の三井IC（仮称）に至る、災害時における緊急輸送路及び速達性の確保、高速ネットワーク形成による第三次医療施設へのアクセス性の向上を目的とした延長約6.8kmの道路であり、平成24年度に新規事業化しました。

整備効果

- ・国道249号や(主)七尾輪島線などの特殊通行規制区間等を回避することにより、災害時の緊急輸送路やバス路線が確保され、地域の安全性・信頼性が確保されます。
- ・高速ネットワークの延伸により、輪島市から最寄りの第三次医療施設への救急搬送時間が短縮されます。

平成24年度の事業内容

平成24年度は、測量及び道路設計に着手します。



国道157号 ^{のまち} 野町自転車歩行者道の新規事業着手 ^{かなざわ} 石川県金沢市

事業の概要

^{かなざわ} ^{のまち} ^{かなざわ}
国道157号金沢市野町地先は、金沢市の中心市街地に位置し、周辺には小・中学校及び高校があり、自転車・歩行者の利用も多い区間ですが、歩道幅員が狭小で自転車や通学児童等の安全が確保されていない状況です。

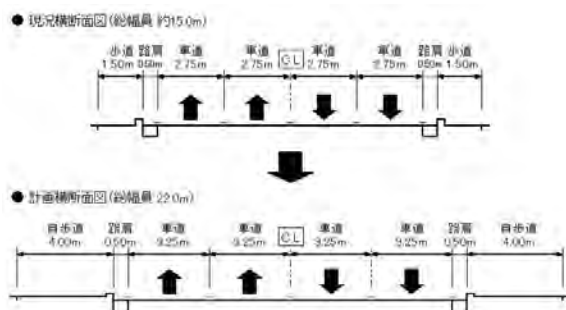
本事業は、歩道拡幅と併せて電線共同溝の整備を行うものです。

整備効果

- ・歩道拡幅により、安全・安心な歩行空間が確保されます。
- ・電線共同溝の整備により、都市景観及び都市防災性の向上が確保されます。

平成24年度の事業内容

平成24年度は、調査・設計に着手します。



現況写真 (金沢市野町)

国道470号 輪島道路の事業推進

石川県輪島市

事業の概要

輪島道路は、能越自動車道の一部を構成し、石川県輪島市三井町本江の三井IC（仮称）から同市三井町洲衛の能登空港ICに至る、高速ネットワーク形成による第三次医療施設へのアクセス性向上を目的とした延長約4.7kmの道路です。

整備効果

- ・災害に強い道路ネットワークが形成されます。
- ・高速ネットワークの延伸により、輪島市から最寄りの第三次医療施設への救急搬送時間が短縮されます。

平成24年度の事業内容

平成24年度は、調査・設計及び用地買収を推進する予定です。



国道 8 号 加賀^{かが}拡幅の事業推進

石川県加賀市^{かが}

事業の概要

加賀^{かが}拡幅は国道 8 号の加賀市内^{かが}の交通混雑の緩和を目的とした加賀市箱宮町^{はこみやまち}から同市黒瀬町^{くろせまち}に至る延長約 6.4km の拡幅事業です。

平成 11 年度から平成 13 年度までに実施した市民参画型道路計画（P I）を踏まえ、現道拡幅による道路計画を策定しています。

整備効果

- ・北陸自動車道加賀 IC と国道 8 号小松バイパスに挟まれたボトルネック区間において、加賀温泉郷^{かが}を中心とする加賀市の経済活動や観光を阻害する渋滞が緩和されます。

平成 24 年度の事業内容

平成 24 年度は、平成 26 年度の供用を目指し、加賀市加茂町^{かもまち}～黒瀬町^{くろせまち}間（L=1.9km）で用地買収、橋梁及び改良工事を推進するとともに、平成 27 年度の供用を目指し、加賀市松山町^{まつやままち}～加茂町^{かもまち}間（L=2.5km）で調査・設計及び用地買収を推進します。



国道159号 ^{ななお}七尾バイパスの事業推進

石川県 ^{ななお}七尾市

事業の概要

^{ななお}七尾バイパスは、国道159号の ^{ななお}七尾市街地の交通混雑緩和と交通安全の確保を目的とした、^{なな}七尾市川原町から同市 ^{しもまち}下町に至る延長約4.3kmのバイパス事業です。

整備効果

- ・ ^{ななお}七尾市街地の交通混雑緩和による主要な商業施設・文化施設へのアクセス性向上が期待されます。
- ・ 第三次医療施設への救急搬送時間が短縮されます。

平成24年度の事業内容

平成24年度は、平成26年度の供用を目指し、^{ふじのまち}藤野町～^{こくぶまち}国分町の用地買収及び改良工事を推進します。



国道159号 羽咋道路の事業推進

石川県羽咋市・宝達志水町

事業の概要

羽咋道路は、国道159号の一部を形成し、現道部の渋滞・事故・冬期通行障害の改善、地域間のアクセス向上等を目的とした延長6.7kmのバイパス事業です。

整備効果

- ・平成19年度に国道159号において複数の悲惨な交通死亡事故が発生するなど、死傷事故率300以上（H18～H21の4年間）となる飯山交差点などの問題箇所を回避することができ、交通の安全性向上が期待されます。
- ・年間約32万人時間の渋滞削減効果が期待されます。

平成24年度の事業内容

平成24年度は、調査・設計を推進します。



国道159号 ^{ふたつやきた}ニツ屋北自転車歩行者道の事業推進 石川県かほく市

事業の概要

国道159号かほく市ニツ屋地先は、周辺に小学校・幼稚園があり、小学校の通学路として利用されていますが、歩道未設置の区間や歩道幅員が狭い区間があるため、通学児童、歩行者等の安全が確保されていない状況です。

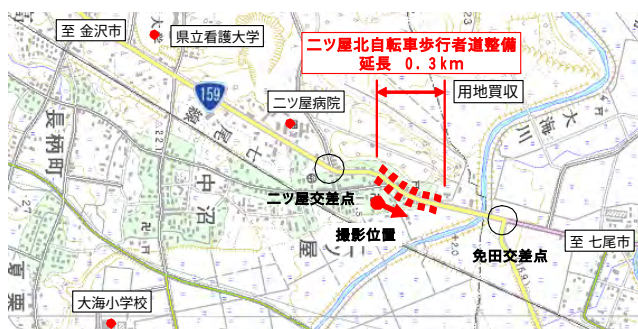
本事業は、歩道設置及び拡幅を行うものです。

整備効果

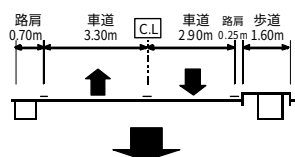
- ・歩道設置及び拡幅により安全・安心な歩行空間が確保されます。

平成24年度の事業内容

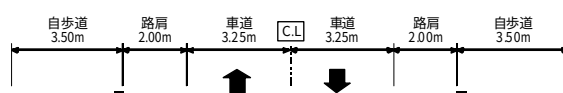
平成24年度は用地買収及び工事を実施します。



● 現況横断面図 (総幅員 約8.8m)



● 計画横断面図 (総幅員 17.5m)



現況写真 (かほく市ニツ屋北)

は し ば 国道159号 橋場自転車歩行者道の事業推進 かなざわ 石川県金沢市

事業の概要

かなざわ はしばちよう
国道159号金沢市橋場町地先は、金沢市の中心市街地に位置し、周辺には小・中学校があり、通勤・通学における自転車・歩行者の利用が多い区間ですが、歩道幅員が狭小で自転車や通学児童等の安全が確保されていない状況です。

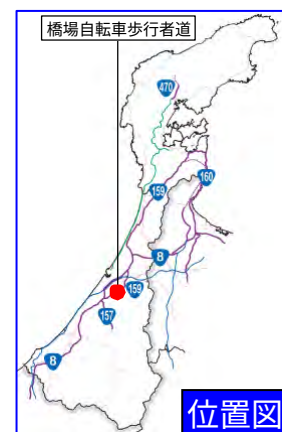
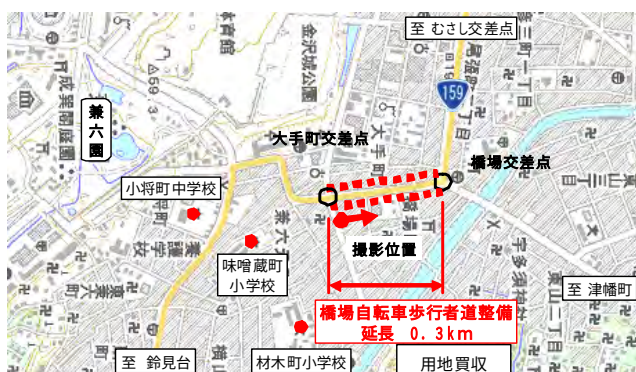
本事業は、歩道拡幅と併せて電線共同溝の整備を行うものです。

整備効果

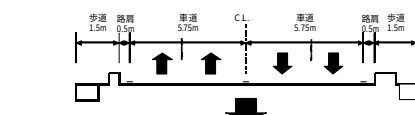
- ・歩道拡幅により、安全・安心な歩行空間が確保されます。
- ・電線共同溝整備により、都市景観及び都市防災性の向上が確保されます。

平成24年度の事業内容

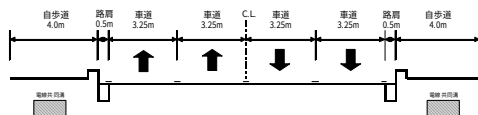
平成24年度は、用地買収及び工事を実施します。



●現況横断面図(総幅員 約15.5m)



●計画横断面図(総幅員 約22.0m)



現況写真(金沢市橋場町)

国道8号 防災・震災対策等の事業推進

の み ぐ ん か わ き た ま ち
石川県能美郡川北町

事業の概要

国道8号は、新潟県新潟市^{にいがた}を起点として、京都府京都市^{きょうと}に至る延長約580kmの路線であり、第一次緊急輸送道路として位置づけられています。

石川県能美郡川北町^{の み ぐ ん か わ き た ま ち}の手取川大橋（下り）において、橋梁耐震補強を実施し、地震発生時における被害を軽減し、円滑かつ迅速な応急活動を確保することで、安全で信頼性が高く、被災後の早期啓開・復旧が可能な道路ネットワークの形成を図るものです。

整備効果

- ・ 緊急輸送道路としての機能を確保し、安全で円滑な交通の確保を図ります。

平成24年度の事業内容

平成24年度は、耐震補強対策として国道8号手取川大橋（下り）の制震ダンパーなどを設置します。

【位置図】



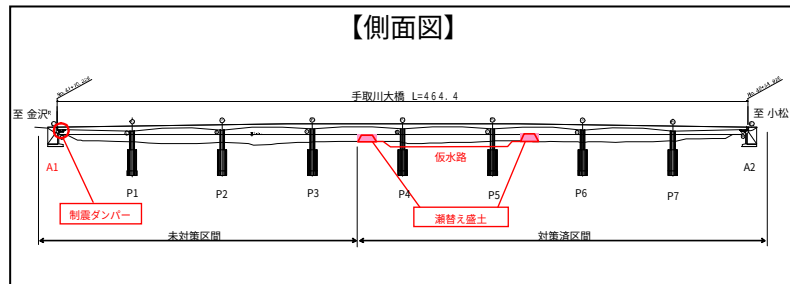
【現況写真】



【対策イメージ】



【側面図】



かけはしがわ

梯川 梯川逆水門耐震対策の着手

こまつ

石川県小松市

事業の概要

梯川水系梯川が流れる小松市街地は標高が低く、地震等により堤防や河川管理施設が損傷を受け津波が河川を遡上した場合には被害が生じる恐れがあります。特に支川前川との合流点にある梯川逆水門は昭和7年に築造された施設であり所定の耐震性能が確保されていないことから、耐震補強を実施し、被害の防止・軽減を図ります。

整備効果

耐震性能を確保することで、津波が遡上した場合においても被害の防止・軽減が図られるとともに、洪水に対して治水上の効果を確保します。

平成24年度の事業内容

梯川において水門の耐震対策に着手します。



てどり 手取川 河口部掘削及び急流河川対策の推進 さくさん の み 石川県白山市、能美市

事業の概要

手取川は流域の9割を山地が占め、水源から河口までの平均勾配が約27分の1という我が国固有数の急流河川です。このため、洪水時の非常に大きいエネルギーによりこれまでも幾度となく堤防が破堤し、大きな被害をもたらしてきました。また、河口付近では流下能力が不足しているため、洪水を安全に流せない状況です。

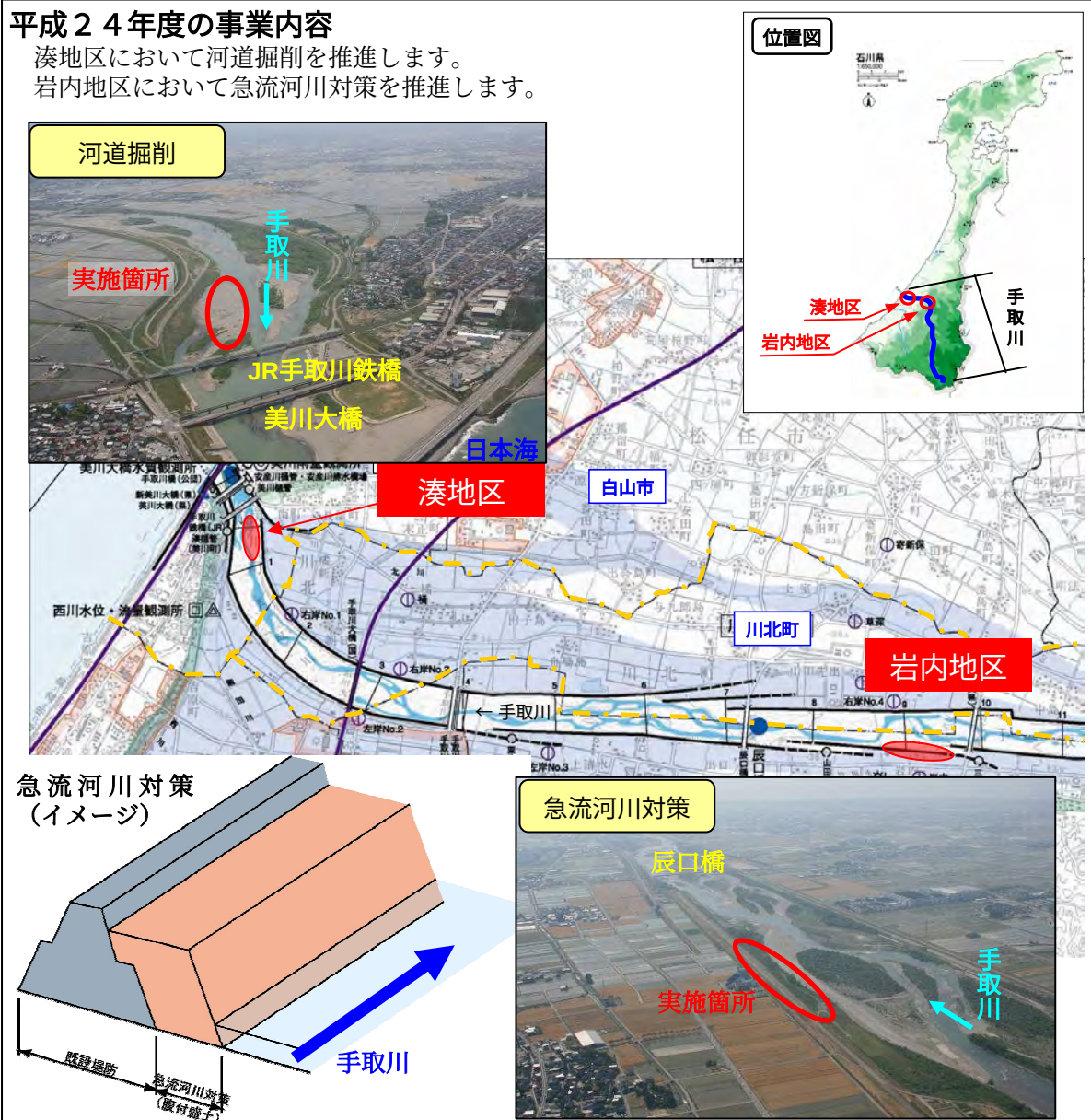
このため、手取川下流部の白山市湊地区において河道掘削を推進するとともに、急流河川の洪水エネルギーに対して十分な安全性を確保するため、既存堤防の拡幅を実施します。なお、河口掘削の土砂を急流河川対策の盛土材料として活用します。

整備効果

河道掘削し流下能力を向上させます。また既存堤防を拡幅し洪水エネルギーに対して十分な安全性を確保します。

平成24年度の事業内容

湊地区において河道掘削を推進します。
岩内地区において急流河川対策を推進します。



かけはしがわ

梯川 重点区間河川改修事業の推進

こまつ

石川県小松市

事業の概要

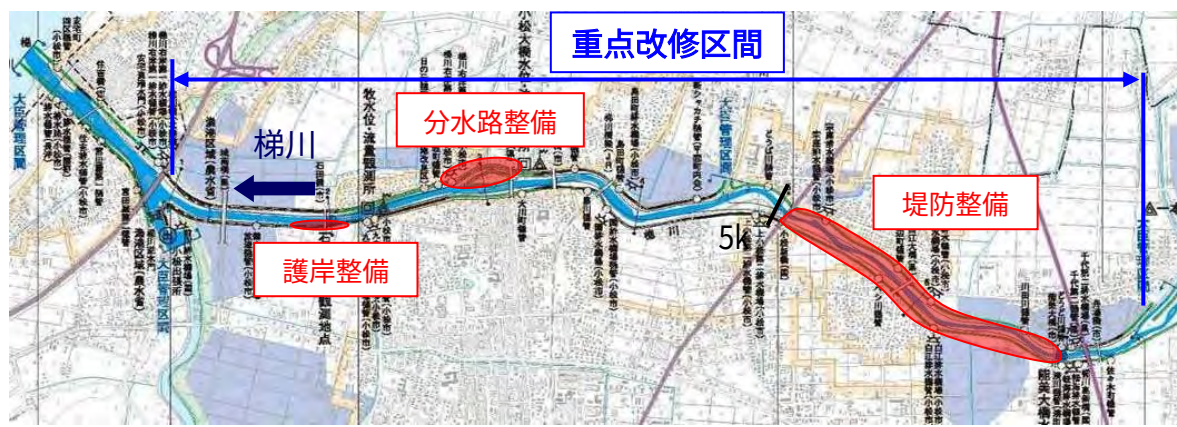
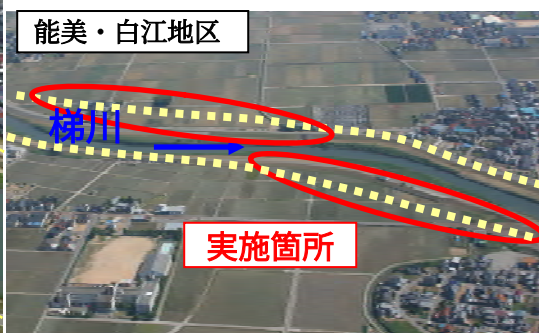
梯川水系梯川は小松市街地を貫流する都市型河川であり、氾濫域に人口、資産等が集中しており、また流下能力が大きく不足しているため、氾濫による被害は甚大なものが予想されます。このため治水安全度の向上を目的に、特に流下能力が不足している1.0km～7.6km迄（前川合流点～鍋谷川合流点間）を重点改修区間と位置付け、下流部より順次引堤による堤防整備を行っています。また改修区間には、小松天満宮（国指定重要文化財）が存在し地域のシンボルとなっていることから、現位置での保存を図る分水路方式による河川整備を行います。

整備効果

重点区間の改修により、洪水を安全に流下させることが可能となり、小松市中心市街地の治水安全度が向上されます。

平成24年度の事業内容

鶴ヶ島地区において護岸の整備を推進します。
小松・牧地区の堤防整備及び附帯施設の撤去等を推進します。
白江・能美地区において堤防整備を推進します。
梯川において堤防・水門の耐震・液状化対策を推進します。



てとり みかわ ごがんかいりょう
手取川 美川護岸改良の推進
はくさん
石川県白山市

事業の概要

手取川の美川護岸（鋼矢板護岸）は、土砂堆積による河口閉塞の防止を目的として昭和54年から平成3年までに設置された施設です。当護岸は手取川河口に位置していることから、冬期波浪の影響や干潮位による鋼矢板の腐食等により鋼矢板護岸が損傷し、護岸背後が空洞化するなどの被害が発生しています。

また、平成13年にも同区間において同様の被害を受けていることから、早急に護岸の改良を実施します。

整備効果

護岸改良により、当該地区の浸水被害の抑制等の効果が得られ、安全度を向上させます。

平成24年度の事業内容

白山市美川永代町において護岸改良を推進します。

平成13年3月 護岸被災状況写真



位置図



^{じんのすけだに} **甚之助谷地区直轄地すべり対策事業の推進** ^{いしかわはくさん} **石川県白山市**

事業の概要

甚之助谷地すべりは、手取川の源流で大規模な地すべりで、現在も年間10cmを超える移動を観測しています。昭和9年7月11日の手取川大水害時には別当谷で地すべり性の崩壊に伴い天然ダムが形成され、その決壊により下流の白峰村(現在、白山市白峰)などに死者・行方不明者112名という未曾有の被害をもたらしています。

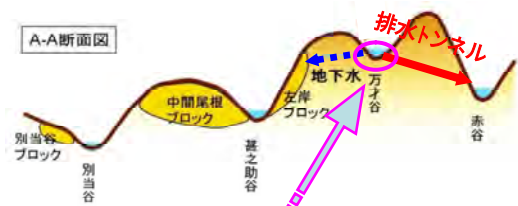
土砂災害の防止を目的として、甚之助谷地すべりの移動を抑制するために集水ボーリング、集水井、排水トンネルなどの地すべり対策を実施します。

整備効果

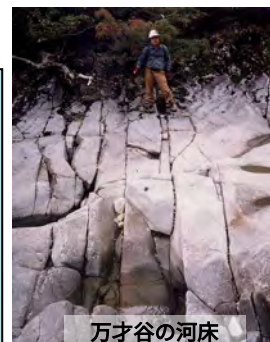
大規模な地すべりに起因する大量の土砂流出を抑制し、沿川地域等を土砂災害から保全するとともに、年間5万人の登山客が訪れる白山へのアクセス道の保全を図り、手取川ダムの利水や地域振興を支援します。

平成24年度の事業内容

左岸大規模ブロックへの地下水流入を抑制するため、万才谷排水トンネル工事を推進します。



昭和9年手取川大水
災害時の白峰村風嵐
の様子



万才谷河床にある亀裂から、流水が地下へ浸透し、左岸地すべりブロックの不安定化の要因となっています。

いしかわ 石川海岸 いしかわ こまつ 侵食・越波対策事業の推進 石川県小松市

事業の概要

石川海岸小松工区は、侵食が著しく、毎年のように護岸等の被災を受けています。そのため、平成16年度から海岸保全施設整備事業により抜本的な保全対策を推進しています。

整備効果

近年、堤防の倒壊が頻発している小松工区において、人工リーフ整備を推進し、当該工区背後地の小松市街地や北陸自動車道等を侵食や越波による被害から守り、安全度を向上させます。

平成24年度の事業内容

小松市小松工区において人工リーフ1基（8基目）を推進します。

